

令和7年10月定例教育委員会会議録

1. **開催日時** : 令和7年10月29日(水) 9時00分から10時12分まで
2. **会場** : 白杵市役所 白杵庁舎1階 大会議室
3. **出席委員** :

教育長	安東 雅幸
教育長職務代理者	神田 岳委
委員	木本 邦治
委員	佐藤 雄一
委員	村上 睦美
4. **出席職員**:

教育次長兼教育総務課長	佐藤 忠久
文化・文化財課長	日高 昌幸
文化・文化財課課長代理	小中 有子
学校教育課課長	新名 敦
学校教育課参事	高田 教一
学校教育課総括課長代理	兒玉 優
学校教育課課長代理	赤波江 美穂
学校教育課課長代理	武野 功
社会教育課総括課長代理	東 正吾
教育総務課総括課長代理	田中 寛美
教育総務課副主幹	増中 洋二
5. **傍聴人** : なし

1. 開会宣言

(事務局)

おはようございます。それでは、本日の出席者の報告を行います。

本日、出席者5名、欠席者0名で、出席者が過半数に達しましたので、白杵市教育委員会会議規則第3条の規定により、本会は成立となりました。

以上報告いたします。それではよろしく申し上げます。

(教育長)

これより白杵市教育委員会令和7年10月定例会を開催いたします。本日の委員会の会期は本日限りいたします。

次に、会議録署名委員に村上委員と佐藤委員の2名を指名いたします。

どうぞよろしくお願い申し上げます。

今回の日程の内、非公開とするのは3協議事項の内、第46号議案 専決処分の承認を求めることについて、教職員小中学校の内申についてを非公開としたいので、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第10条7項に基づき、採決を行います。

これに賛成の委員は挙手を願います。

(委員挙手)

(教育長)

はい。それでは、挙手多数により非公開いたします。

2 教育長報告

(教育長)

それでは、次第2 教育長の報告を行います。

今回は2か月分をさせていただきます。

学校の現場の様子ですけど、先週ですね、中学校は修学旅行のB班が帰って来ました。それから、小学校の運動会が10月18日に7校で終わったところであります。

今10月の頭ぐらいまでは、学校現場コロナウイルスも結構出て、100人を超える位。市内の子で出ている状況だったんですけど、先週と今週とぐっとこう減って、今10人台に落ち着いているんですけど、実はインフルエンザがちょっと急に増えてきて、昨日、西中学校の2年生の1組と3組、それから野津中学校2年生の学級閉鎖をいたしました。今日の様子は、バラバラとだんだんこう来ているということでもあります。

お手元に教育長報告の9月と10月の行事予定が入っていると思いますが、2か月分ちょっとかいつまんで説明をさせていただきます。

9月であります、1日は定例課長会の後に防災講演会、課長会に対しての防災講演会を行いました。

2日は日程調整会議の後、午後は定例の所長会を実施いたしましたところであります。

3日は9月議会の通告の締め切りであります。

4日は定例記者会見が午後ありまして、夜は県民スポーツ大会の結団式を行いました。

5日は市内の中学校の英語弁論暗唱大会。一番の生徒は東中の高村さんですかね。

県大会に出場しました。夜は白杵市のまちづくり市民講座がサーラ・デ・白杵であり、参加をさせていただきました。

6日は県民スポーツ大会の開会前の開催の応援に行かせていただきました。

この日、県下の磨崖仏の保存対策ということで、白杵市がリーダーシップをとって、磨崖仏を抱える市の担当者が集まって、修復の現状とか、保存の現状とかいうことをお互いに意見交流しながらということで、文化・文化財課が声をかけて、集まって、これからいろんな研究を進めていこうという取り組みをしたところでもあります。

8日は、さくらマラソンの実行委員会を夜に開催しました。

答弁書検討会はここから入ります。

9日ですかね。9月議会の開会。

10日に西中学校で3提言の日ということで、県下の先生方100人を超えて、西中学校の公開授業を行ったところでもあります。これももう毎年、西中は自主的に行っている取り組みであります。県下でも評価をいただいたところでもあります。

この日からちょっと間があいたんですけど、統合される学校の保護者の説明会。ちょっと2か月ほど間があきましたんで、丁寧な説明ということで今後こういう流れで、統合については進んでいきますという説明会をこの日から4校で行ったところでもあります。

この日が佐志生小と下ノ江小。それから、次の日の11日に南野津小を。ちょっと飛んで16日に川登小学校で、説明会を行ったところでもあります。

これ13日と14日と県民スポーツ大会開会式。別府のアリーナでありまして、2日間応援に行きました。

16日、17日、18日と一般質問。

16日は、市のスポーツ協会の表彰式もあったところでもあります。

17日は、一般質問で行けませんでしたけど、市内の中体連の秋季大会が行われたところでもあります。

18日は、海辺小の学校運営協議会に参加をさせていただきました。今後は統合に係る部分については、コミュニティスクールの学校運営協議会を使って、そこに我々が行って説明をします。これが、いわゆる統合、閉校に向けた協議会をもう立ち上げずにそのままコミュニティスクールの学校運営協議会を使わせていただくということで、ここから4校の学校運営協議会に参加をさせていただきましたところでもあります。

それから19日ではありますが、西中学校の学校運営協議会、併せて西中学校区の学校運営協議会の方々が要望に訪れました。中身は屋内運動場の空調設備の充実についてということで、お見えにいただきます。

それから19日金曜日は夜に野津で、市民大学講座、次の日に書いています角田夏実選手オリンピックの金メダリストが来て、講座がありました。

私も参加をさせていただきまして、翌日柔道の講習会も行われたところでもあります。

22日は秋の交通安全街頭啓発、アニマードのところにちょっと立たせていただきました。

26日は交通安全大会、教頭研修会、歴史資料館の内覧会ですかね。今回、結構面白い展示があつてますんでまたぜひ、行っていただければと思います。

28日は岸谷さんのコンサート。これも満員御礼でありました。

29日から校長所長の目標管理面談が始まりました。

30日に9月議会閉会の後に、教育民生委員会から提言書をいただきました。これまた後程、どういう提言書かというのは説明させていただきたいと思いますが、背中を押していただくような提言書でありました。

10月に入りまして、1日この日から大分教育事務所の学校訪問で、学校教育課長中心に対応、事務所の所長、次長あたりが来て、それぞれ学校指導していただく。随行したところでありま

す。

2日は校長所長面談、校長所長会。

3日は白杵市戦没者追悼式、スイングキッズコンサートがありました。

ちょっと私はこの午後から国民スポーツ大会に、滋賀へ応援に行かせていただきました。白杵市選手としては西中学校卒業した400mハードル福岡大を卒業した高野七海さんは、400mハードルに出場したところで、ちょうど走るところを見ることができました。

4日は佐志生小、上北小、下南小、福良小の運動会がありました。

白杵城跡の国指定の記念講演会も5日の日、文化・文化財課が中心で行ったところでありま

す。

それから修学旅行A班、中学校が出発をいたします。天気にも恵まれて、大きな病人も出ずに、無事に帰ってきたということでありました。

11日であります。ひまわりフェスタが川登で、ひまわりを植えたところでありました。ここには、東中、野津中の吹奏楽部が来てくれてまして、私も参加をして、挨拶をさせていただいたところ

あります。

15日に政策監会議、その後、九州都市教育長協議会の定期総会と研究大会に参加、次の日から常陸太田市の姉妹都市提携10周年記念交流会ということで、川登小学校の5、6年生7名と、顕正会の方含めて、市長、教育長と常陸太田市の方に行かせていただきました。大変歓迎をされまして、向こうの水府小学校と川登小学校が交流し、それをまた後程報告させていただきます。いろんなことがありまして、飛行機が朝1時間位飛ばなくて、到着が1時間遅れたんで、もうちょっと向こうも、授業をずらしながら歓迎会の準備をしていた中で、ちょっと1時間遅れで、入りましたんで、なかなかすべての行事ができるということにはなりませんでしたが、いい交流ができたんじゃないかなというふうに思っています。

21日から修学旅行のB班が行きました。

22日は新聞に昨日出たけど、白杵っこ検定の上級認定式、今年は232名受験をして、47名が合格、上級合格13名。なかなかの成績かなというふうに思いますが、この後、白杵っこガイドとか、学芸員になってくれるとありがたいなというふうに思っているところでもあります。

24日に教頭研修会を行ったところでもあります。

26日は一斉の総合防災訓練と図書館の秋祭りで白杵っこだるたの大会を図書館の方が開いていただきました。だんだん、どういう形でやるのがいいのかなという、研究しながら、広げていきたいと。

それから、昨日、定例の記者会見、夕方とか夜ですね、さくらマラソンの2回目の実行委員会で大会の大枠が決定いたしました。

今年は新白杵港から上浦の方に向かって走っていくという、新しいコース。10キロの折り返しをすごく景色のいいところを今回走りますんで、参加者も多いというふうに思ってますけど、駐車場等、それからテントですね、海辺ですんで、風に飛ばされないとか、遠い仮設トイレのこととか、いろいろ考えなければいけないことが多いんですけど、フェリーの時間とかを考えずにいけますんで、緑地広場もフグ公園もできましたんで、ここらあたりを中心に白杵の新しい施設もアピールしながらの大会にしたいなというふうに思っています。なんせ初めてですんで、昨日も警察とのやりとりとかいろいろこうしましたけど、なかなか失敗もあるんだろうなというふうに思ってますが、第50回の記念大会をしっかりとやりたいと思っています。

それから、本日、定例教育委員会、この後午後ですね、お時間あれば是非、川登小と南中学校が研究発表会をします。14時20分位から授業しますんで、顔出していただけるとありがたいなというふうに思っています。

それから、危機管理研修会については、佐藤次長の方をお願いして、私は学校の方を回りたいと。運営計画の中間の市長ヒアリングがあります。

それから31日、1日とヒューライツフォーラム佐伯大会で、私も理事に今年からなったんで、明日は全大会参加をしたいなど。

11月もご承知の通りで、今週土日で竹宵であります。

2日の午前中からずっと1日野津町の文化祭が開催されます。私も参加の予定であります。

以上、ちょっと長くなりましたが、9月10月の教育長報告を終わらせていただきます。

ご質問等ございましたら。

(村上委員)

この中で3つほど、10月5日の白杵城跡国指定記念講演会に私も参加させていただきました。広島大学の教授が大変熱く語っていただいて、白杵愛をしっかりと、伝わってきました。本当に良い講演会で勉強になりました。これ、皆さんも参加されたかと思いますが本当にありがとうございました。

あと、ひまわりフェスタですが、フェスタの日には行けなかったんですが、前日に行きましたら、子供たちが考えたおみくじとか、スタンプラリーとかがありまして、それに参加させていただきました。

本当によく手入れもされてて、地区の方もたくさん出てくれてですね。

子供たちの考えたおみくじを引かしてもらったんですが、「長生きするかも」とか書かれてて、嬉しい気持ちになりました。

子供たちのアイデアがとってもよかったので、ここでご報告します。

あと質問ですが、26日の図書館秋祭りに白桦っこかるた大会を開催したということですが参加人数はどれ位だったのでしょうか。

(教育長)

12名です。あんまりこう、大所帯の大会ってなかなか難しいかなと思ったので、今回は5歳児に限定して、募集をさせていただきました。なかなか、やっぱり4歳と5歳の差があるとか、アンケート全部読んだんですけど、概ね大変よかったんですけど、学年1つ違うとなかなか難しいということで、どこまで広げるかというのは今後の課題かなというところで、市教委で主催してやるというのも考えたんですけど、図書館まつりの中で1回やってみましょうということで、徐々に広げるのがいいかなというところです。

(村上委員)

はい。わかりました。

ありがとうございます。

(教育長)

その他。

(佐藤委員)

10月18日の小学校の運動会についてです。昨年より約2週間遅らせたということで、大変暑さ対策も、当日もできてよかったと思いました。

10月4日にちょっと早く行われた学校も多数ありますが、ちょっと保護者の方ともいろいろ話をする機会があったので、私も、保護者さんの感想も含めてなんですけども、当日はよかったんですけど、やっぱり練習期間というのがどうしてもいるので、その期間がやっぱり運動会当日は、涼しさが出てきたんですけど、その前はやっぱり練習のときが暑くて、先生方も、生徒もやっぱり、たびたび休憩や、水を飲む時間を設けたりとかして、ちょっと負担が大きかったように思われます。

大分市の方の学校は、なんか10月末に行われてるところもあるそうで、今後そういうのも検討していただけないかと要望もありました。極端に言うと、11月に入ってもいいんじゃないかとかいう意見もありました。先ほども出ましたけど、11月に修学旅行等もあるので、そういうのもあつてのことなのかもしれないと思うんですけど、昔は修学旅行とかは春に行っていたような記憶が私にはあるんですけども。

今後どうでしょうか。

あと、これも要望ですけど、コロナ禍も大分落ち着いてきたようにもあるので、運動会を少し以前のように戻すことはできないのかと。競技が減ってきたので、また、競技を少し増やして欲しいとかっていう要望もありました。

以上です。

(学校教育課長)

ご指摘ありがとうございます。先ず、時期についてですけれども、基本的に運動が、体育的行事ですので、最終的には学校長が判断するというので、市教委の方としても暑さ対策等の話はしながら一緒に相談するんですけれども、やっぱりかなり暑さが気になる。やっぱり熱中症による子供たちの心と体が一番心配ですので、なるべく時間を下げてということで話をしています。

そうなったときに、春開催、5月の開催もちょっと視野に入れる必要があるのかなという話題も出ておりますし、そして、また11月になったときにまた経緯もありますし、様々な状況があつてなかなか、日程の調整難しいところではあるんですけども、ご指摘のようにやっぱり子供の暑さとか練習にもやっぱり関わりますので、日程の方の調整につきましては、校長会と教育委員会も一緒になって相談をしたいというふうに考えております。

それと、競技数のことについてですけれども、これもまた学校の事情によってってことになるんですけども、やっぱりメリット、デメリットある話はかなりしております、メリットとしてですね、以前、場所取りがかなり目を血走らせていたんですけど、お弁当の場所が必要ないということで、うまく譲り合ってみたりとか、それですごく穏やかになったとか、本当にワーッとこうすごい感じでやったらそれがなくなったというメリットもありますし、かといって今おっしゃったようにちょっと物足りなさもあるなという話もありますので、そのようなところも勘案しながら、もう少し全体でも考えて最終的には学校長が自校の開催については責任を持つというのが基本になると思いますので、ただいま、ご提案いただくことにつきましては、白桦市内でも共有してやっていきたいと思っております。

以上です。

(教育長)

よろしいですか。

(佐藤委員)

学校によって、やっぱり小さい学校、大きい学校、いろいろその土地のいろいろ事情も違うので、全部一緒とはいかないのかなと。わかりました。

(教育長)

この前、来週校長会あるんですけども、そこでも言おうと思ってるんですが、教頭会では、5月開催、もしくは10月の下旬がいいんじゃないかという提案をさせていただきました。それは暑さ対策ということでもあります。

ちょっと午前、午後のところは、学校の行事で1日まるっとやるとすると、また練習の時間とかそういうのも、かなりかかるということも含めて、何か元に戻って行く傾向にはあんまり全国的にも

ないなか、なので、そこらあたりは学校の方で、保護者とか生徒の健康とか、そこらあたりも考えながら進めていく方がいいかなというふうに思っているところであります。

佐藤委員の言われる子供たち、先生方の健康という視点からは、5月開催もしくは10月の後半がいいかな。あまり下げると、今言われた竹宵、それから修学旅行と、ずっと続いていきますんで、なかなか間隙を縫っての日程調整は難しいなあというふうに思っていますけど。検討したいというふうに思っています。

その他ございましょうか。

(委員意見なし)

(教育長)

よろしゅうございますか。はい。

それでは、教育長報告については、終了させていただきます。

3 協議事項

(教育長)

続きまして、第46号議案。協議事項に入りたいと思いますが、専決処分の承認を求めることについて 教職員小中学校の内申について学校教育課から説明をお願いします。

<第46号議案非公開>

4 教育施策に係る報告

(教育長)

これより4 教育施策に係る報告について移りたいと思います。

まず、市議会からの白杵市公立学校の適正配置に向けた取り組みに関する提言について教育総務課から報告をお願いします。

(教育総務課長)

はい。4 教育施策に係る報告についてでございます。

お手元の資料ペーパーをご覧ください。

令和7年6月、先ほど教育長からのご報告にありましたように令和7年9月30日に白杵市議会の内藤議長並びに白杵市議会教育民生委員会の芝田委員長より、白杵地区公立学校の適

正配置に向けた取り組みに関する提言というものをいただいております。

このペーパーは、その原文のコピーとなっております。文書に関しましては、読んでいただければいいかと思えますけれども、議会運営委員会といたしましても、視察等も行きながら、また、今後、現地並びに市教育委員会が開催した地域説明会に多くの委員の議員の方もご参加いただきまして現状大分把握されているというふうな中で、今回、議会としてどういうふうな提言をすればいいかということで、ご議論、内部でご議論いただいていたのがこの提言書というふうになっております。特に、議員からあったのが、地域説明会であった、市教委から丁寧に説明がされたということで、すごく評価、高い評価をいただいていたということと、また、地域住民の方が出された子供たちの精神的な負担軽減のため、統合に向けて小中連携の機会を増やしてもらいたいとか、災害対応や校舎の設計は大丈夫か等々の地域住民の声もあったということを踏まえまして、裏面でございますが、このキの下でございます。大きく3つポイントをいただいております。もちろん、議会におきましても後は児童生徒の減少や、校舎の建て替えとか、そうした部分も踏まえ、また10年、20年先の子供の学び場の将来を見据えながら、また今後も継続して、白杵市公立学校のあり方について、今日は協議をしていく必要があるとも考えているというふうなことをいただいております。

先ほど申しました1点から2点、3点でございます。書いている通りでございますけれども、先ず1つに学校等を学校統合の際に使用する校舎等の設備を再点検し、子供たちがよりよい環境の中で学ぶことができるよう、必要な設備改修を行うことについて検討すること。

2つ目に、学校統合後の心のケアも含め、子供たちが安心して帰るよう、統合対象校間の学校現場の意向も踏まえた形で、小中連携の機会増やすよう努めること。

3点目に児童生徒数の推移や、各学校施設の老朽化、耐用年数等を鑑み、施設一体型の小中一貫校の設置について検討することというふうなご提言をいただいたということでありますので、皆様方にご報告したいというふうに考えております。

以上でございます。

(教育長)

はい。今、佐藤課長の方から説明がありましたが、教育民生委員会からの提言についてご意見ご質問等ございましょうか。

今、教育委員会でやろうとしていることについて、積極的に進めていってくださいということでありますし、議員の皆さん方もかなりの回数ですね、地域説明会には、ご参加をいただいて、現状も見ていただいた上でのことで、議員の方々も学校現場もちょっと視察に行っていたりとか、小中一貫校を見に行ったりとか、いろんな研究した上でのご提言ということで、ありがたいというか重く受けとめながら、前に進めていきたいなというふうに思っています。

中でも3番目の小中一貫校に向けた検討も進めてくださいということで、ご提言いただいておりますので、公立学校のあり方検討委員会の中で、一貫校に向けた検討も始めましたので、これも少しずつこうやっていくという方向でいきたいなというふうに思っています。

特に今回の統合については、4校であります。今後また少子化の中で、適正な配置が必要な学校も出てくると思うんですけど、そこらあたりは何度も何度も統合を重ねるというよりも、もうその先に、小中一貫校の設置ということを目指して進めていった方が、学校現場としては、あんまりこう、何度も何度も統合を重ねるよりも、そこを目指して全体をレイアウトしていくという方が、子供たちにとっても、先生方にとってもいいのかなというふうに思っていますので、この、提言書を大切にしながら進めていきたいというふうに思っています。

この件について、終わってよろしゅうございましょうか。

(村上委員)

大変ありがたい提言だと思いました。

学校現場のことや、学校設備などもしっかり調べて考えてくださって、子供たちの10年20年先のことまで、しっかり考えてくれていることを本当にありがたいと思います。

これからも、教育民生委員会の方々も教育委員会と協力して、子供のために頑張ってくださいたいと思います。本当にうれしく思いました。ありがとうございます。

(教育長)

その他ございましょうか。

それでは、報告の1番目の提言については終わりたいというふうに思います。

続きまして、教育予算についてに移りたいと思います。

補正予算9月定例市議会について、教育総務課から説明をお願いします。

(教育総務課長)

はい。教育予算についてでございます。これに関しましては、8月の定例教育委員会でご説明した案件の通り、9月の市議会では、議決されたというふうなことでございます。基本的には、こういうふうな予算っていうのは、議会の予算委員会、議員さん全員の中で説明して、議員からご意見等いただくというふうなことになって、ご意見ご質問等を伺うというふうになっております。

今回いろんなこと言われたのが、やはり屋内運動場のエアコンの数、設備の設計委託料。これは、どうして野津なのかというふうなことをですね、議員さんがすごく、いろんな議員さんの考え方があるということで、何で野津なんだと、というようなことを大分言われた部分があります。

市といたしましては先ずは、防災という部分も踏まえて、野津中学校の屋内運動場のエアコンの設備設計をしていきたいというふうな説明を周知させていただいたというところでございます。

また、議会の方からも今後どういうふうな屋内運動場の空調で、どういうふうに考えているのかというふうなことも質問をされております。

基本的には市としては、計画は持っておりませんが、予算を取っていきながら、他の学校の屋内運動場のエアコンについても整備について、随時予算取っていきたいというふうに説明をさせてもらっておりますので、今後、次年度以降の当初予算に向けてですね、屋内運動場の空調設

備に関しましては、予算計上、また予算要求していこうかなというふうに考えているところがございます。

また、3番の公用自動車の運行業務委託料、これにつきましては、小小連携の促進という部分での予算ということでございますが、これについても、議員さんから一定程度のご理解いただいたのかなというふうに思っております。

以上でございます。

(教育長)

はい、9月議会の補正予算についての説明がありました。

ご質問等ございましょうか。

(村上委員)

今の説明の中で、野津中学校の屋内運動場の空調設備がなぜ野津中学校なのかという議員さんからの質問があったというのが、ちょっと理解できないんですけど。

それは、他の白杵市内の中学校を先にしないのかという意味でしょうか。

(教育総務課長)

委員のご指摘、ご質問にお答えいたします。

具体的には、なぜ野津中学校なのかって、単純な話でございます。やはり、いろんな学校、防災に関しても当然西中学校も避難場所になるというふうなこともございます。

ただ、こちら側といたしましては、説明させてもらったのが、大きな災害が起こった場合、家をなくしたりした場合、仮設住宅を建てるとした間、何か月間が必要になってきますんで、そうなれば、野津中学校の体育館が避難場所として、一番になるんじゃないかということで説明させてもらったという部分のことをしたんですけども、やはり高台にある学校、白杵地域に向けた課題、学校も該当するんじゃないかというふうなご意見もあったというふうなことでございます。

ですから、大きくどっちが悪いというわけじゃないんですけど、なんで、野津中学校なのかというふうなご意見をいただいたというところでございます。

(村上委員)

何となく、何となくわかりますが、野津地区は野津公民館以外避難場所がないから、野津中学校をそういうふうにしてくれるというわけではないんですか。

(教育総務課長)

そういうわけではございません。基本的には野津中学校にはエアコンがついておりますので、避難場所としてはいろんな施設が使えると思っております。今回、その体育館をそのエアコンを整備するにあたって、当然学校だけの、その学校の教育環境の整備とあるんですけど、先ずやっぱ

り、市全体としてバックボーンとするならば、やっぱり防災部分の観点からも説明していかないと、なかなか予算取りに厳しいということもありましたものですから、そういうふうな説明をさしていただきました。もちろん、その地域にあるから野津地区の住民の方が避難するというわけじゃなくて、市全体として考えていかないと、避難する場合、どこが一番、まずどこを考えるのかってなれば、当然海岸部ではなく、内陸部の方に避難するというのが一番ではないかなということの説明させてもらったということでございます。

(村上委員)

分かりました。ありがとうございます。

(教育長)

ありがとうございます。

今後、全国的な流れとして、この猛暑の中、体育館の空調の整備については、進んでいくんだろうなというふうに思って、一気にできるといいんですけど、なかなか予算的なこともありまして、先ずは取り掛かりとして、野津中学校から取り組んで、また、教育委員会サイドとしては、子供たちの健康安全ということで、進めていく必要があるかなというふうに思っています。次の年に計画的に、戦略的に、整備を進めていけるといいというふうに思っています。

その他ございましょうか。

それでは、9月補正予算については、終わってよろしゅうございましょうか。

はい、ありがとうございます。

5 その他

(教育長)

続きまして、その他、最初に、白杵大好き白杵っこ検定について、学校教育課から報告をお願いします。

(学校教育課長)

はい。では、6項のその他の分の最初の白杵大好き白杵っこ検定についての資料をご覧ください。10月22日16時30分から隣の中会議室で上級の認定式を行いました。内容については、上級の認定証書を授与した教育長から授与した後に教育長挨拶と、受賞者の代表挨拶として記念撮影を行って、そして、文化・文化財の日高課長の方から、この上級認定者につきましては、ガイド講習を受けた後の石仏の白杵っこガイド、そして、歴史資料館の白杵っこ学芸員になる資格を持つということになりますので、そのガイド講習等についての参加依頼というか参加要請を行ったという形になっております。

写真についておりますけれども、上級合格者全13名中12名が参加してくれました。

このうち、13名の内ですね、4名が昨年度に続けて2回連続上級合格ということで、上級合格90点以上ということですね、かなりやっぱりみんなこの受かった子は相当な勉強をしていると思います。

また、学校で取り組んだであるとか、実地を見に行っただであるとか、様々な意見を聞きまして、やっぱり特に臼杵大好き臼杵っこの育成に非常に効果がある取り組みだなと考えておりますので、継続して取り組んでいきたいというふうに考えております。

以上でございます。

(村上委員)

ありがたいですね。臼杵石仏の記念式典のときに、臼杵っこガイドの方たちが順番に説明してくださったんですけど、すごく詳しく勉強されて、楽しくって、本当に私たちが勉強させてもらったので、これからも頑張りたいと思います。

(教育長)

ありがとうございます。

臼杵っこ検定についてよろしゅうございますか。

続きまして、3つの教育推進フォーラムについて、学校教育課からお願いします。

(学校教育課)

続きまして、3つのきょう育推進フォーラムについての説明でございます。

資料は3ページからになります。3ページにチラシの部分があるんですけども、こちらで説明したいと思います。

毎年1回、3つのきょう育推進フォーラムということで行ってるんですが、今年度は12月12日の18時20分から20時まで、中央公民館の大ホールで行いたいというふうに考えております。

この会につきましては、まず第1部の中身について、臼杵市公立学校のあり方検討委員会の取り組みについてということと、第2部での講演は、これからの社会を生き抜くための資質能力を育む、小中一貫教育の魅力ということで、大分大学の特任教授の久保先生からご講演いただくということになっております。

今回のテーマは、小中一貫教育という形で先ほど議会からの提言にもあったんですけども、臼杵市の教育として適正規模を進めている適正配置を進めているんですけども、これ人数が少なくなったから、付けようというのじゃなくて、やっぱり将来的に魅力ある学校として小中一貫校を目指していきたいという思いからですね、市民の皆様、地域、保護者の皆様にも、この小中一貫校の魅力を知っていただいて、今後の臼杵の教育と一緒に考えていただきたいという形で、今回小中一貫校ということで、テーマを設定したということになります。

ちょうど、このあり方検討委員会の中で、中間方針、中間提言をいただくことになっておりますので、こういう進み方をしていますという、最初、提言を、取り組みについての説明をした後に、大

分大学の久保先生の話で、久保先生は、大分市の碩田学院の校長を務めてくださった、いわゆる現場の教員の方ですので、より具体的な話が聞けるのかなというふうに考えているという状況でございます。

4ページが実施要項ということで、教職員と保護者と、そして学校運営協議会の関係者の方々には、ぜひ参加していただきたいというふうに考えてこのような形にしておりますので、教育委員の皆さんもよろしければ、ご参加いただければというふうに考えているという状況でございます。以上です。

(教育長)

3つのきょう育推進フォーラムについて、ご質問等ございましょうか。

適正配置についても情報発信をやっぱりしっかりやっていったことが、今回スムーズな統合になったのかなということで、今後一貫校の設置に向けて、進めていくにあたってですね、やっぱり一貫校の皆さんで、学習というか、どういうことなのかということを知っていただく意味あるかなというふうに思っていますので、今回のテーマは、小中一貫教育の魅力ということで、先生にご講演をいただくようにしています。

併せて、あり方検討委員会の委員の皆さんの中から、今こういう検討していますという情報発信もできるといいな。

今、課長も言いましたけど、時間が許せばご参加をいただければありがたいというふうに思っています。

この件につきましてよろしゅうございますか。

はい。それでは、続きまして、臼杵市常陸太田市姉妹都市提携10周年交流事業について、学校教育課から報告をお願いします。

(学校教育課参事)

私の方から、臼杵市常陸太田市の姉妹都市提携10周年交流事業についてということで、お手元に冊子の方を今配らせていただいております。

10月17日から18日、19日と臼杵市の訪問団で、市長、議長、教育長、臼杵市議会議員、二孝女顕正会、川登小学校、総勢45名で常陸太田市の方を訪問しております。

教育委員会としては、川登小学校5、6年生の7名と校長、担当教諭、私と教育長で、水府小学校の方に訪問を初日にしております。

常陸太田市の水府小学校については、先ほども教育長からありましたが、一貫校の方になっていまして、校舎自体も木造の建物で、温かみのあるすばらしい校舎だなというふうな感想を持っています。

小学生も先ほど言いましたように、飛行機が1時間遅れて、向こうのおもてなしで二孝女の劇等もある予定でしたが、ちょっと時間の都合でカットされて、それでも川登小学校からは贈り物として和紙で作った「うちわ」、向こうからは焼き物をいただくという記念品の交換も行っておりま

す。

その後ですが、常陸太田市の方もかなり廃校になった学校があって、その廃校になった学校の施設を使って、宿泊施設となっている小学校に泊まりました。

そちらで、夜も向こうの小学校 6 年生と、こちらの行った5、6年生で夜、交流会の方をしております。

食事は向こうの小学生と保護者たちで、ピザとかグラタンを一緒に作ったりして、その後、体育館でドッジボールや、レクレーションの方を楽しんでおります。

翌日からは交流団と一緒にになりまして、りんご刈りをして、その後、「つゆ」と「とき」が行った青蓮寺の式典に参加をしております。

その様子が、そこに写真で載せていますのでご一読いただければと思います。

以上、簡単ですが説明させていただきます。

(教育長)

交流事業について何かご質問等ございましょうか。

(村上委員)

これ、冊子を見させていただくと、子供たちが向こうの小学生たちとしっかり楽しそうに交流でき、いい経験をできているなどと思って、本当にうれしく思ってお見させていただきました。

なかなか、こんな遠いところに行くこともないし、今まで会ったこともない子供たちと交流できるとかいう機会がないので、本当に川登の子供たちは、いい経験をできてよかったなと思いました。

お疲れ様でした。

(教育長)

ありがとうございました。

その他ありましょうか。

(木本委員)

懐かしいなど思いながら、泊まった金沢小学校ちゅうのは、多分、前の山田小学校ですね。最初の交流会のところだったんですけど。ちょっと懐かしいと思い言いましたが、これから後、来年、再来年に統合していくので、山田小が小中一貫校の水府小学校になって、それで交流してきたので、今度こっちも新しい野津小になったときに、交流していく。今進めている川登小が行っている、南野津小が行っている、野津小が行っているそれぞれの地域学習をうまく統合していけば、新しい野津小と水府小で野津全体とか白柁のとかってということになろうかと思うので、そういうことも見通して、15 年目、20 年目と繋がるといいなあというふうに感じました。

以上です。

(教育長)

ありがとうございます。

閉校に向けては、先ほど言いましたように学校運営協議会を使って、準備を進める。来週からですかね、海辺小それから野津小の統合協議会ってこれは、それぞれが集まって代表者が集まっていたと、その会もするんですけど、その中で、これからこうやっていきますという説明をさせていただきます。

(学校教育課参事)

はい。木本委員のご質問にあります統合後の地域協働についてですが、今、学校運営協議会の方で学校と地域が行っている、地域協働について資料の提出をさせていただいております。それについて、川登小であれば、二孝女、紙すき、風連鍾乳洞とかですね、そういうものもあるので、既に統合している野津であります、戸上小、都松小、田野小があるんですけども、そこも含めた中で地域協働を協議していってもらうようにはしているんですけども、教育課程の中に全てが入るとなると、時間が多分足りなくなりますので、その辺を協議会の中で隔年ですとか、これはもう毎年するべきだとかいう部分の協議を行っていただいて、学校側で教育課程の中に入れていただきたいと思っております。

二孝女については、特に、来年度に常陸太田市の水府小学校がこちらに来ますので、川登小学校も含めて野津小、統合先と一緒に協力してやるとか、向こうは小中でやってたんで、その辺をまた、これから小学校の方で検討していきたいとは考えております。

よろしく申し上げます。

(教育長)

ありがとうございます。

来年お迎えをするので、川登小では結構おもてなしはいろんなことができるのかなあというふうに思っています。

例えば、紙すきもありますし、天気がよければ、鍾乳洞も見れますし、こっちに来て、竹宵の時期がいいのかなというふうに市長部局と話をしてるんですけど。

そうならば、例えば、ここの臼杵石仏は臼杵っこガイドでご案内するとか、学芸員で歴史資料館を見るとか、いろんな引き出しをですね、臼杵市もあるのかなというふうに思っていますので、顕正会、振興協議会とお話しながら進めていきますし、今後、10周年が終わると、その後15周年でやるのか、20周年でやるのかというところで、考えなければいけないと思うんですけども、その辺りは、木本委員言われた野津小、もしくは、場合によってはですよ、一貫校になっていけば、またそれはそれで、こうやっていく。

一貫校同士の連携とか、そういうのもこう見えてくるのかなと思っておりますんで、今回限り、ちょっとどういう形でやっていくかというのは、先行して水府小の方が先に統合されてますんで、そこを見ながらやっていきたいと。

ありがとうございます。

その他、姉妹都市の方はよろしゅうございますか。

はい。それでは、10周年の交流事業については終わりたいと思います。

その他の教育施策に係ることについて、委員の皆様方からご意見等ございましたら、何でも結構です。

(神田委員)

部活動の地域移行について先日、ニュースでやってましたが、過去に教育長もおっしゃったかもしれないんですけど、熊本市の事例が出ていて、熊本市は文科省の指示というかな、なんて言うんですかね、指導を無視して、2027年度以降も中学校で部活動移行して、先生方については自由参加で、残った先生には手当を出すというようなのが明確にニュースに出ていて、あれを見た保護者達が、臼杵市はなぜできないのか、というようなことを言いそうな気がしたので、具体的に我々やっぱ行政の人間ではないので、文科省の指示を無視したときに、デメリットは当然何かしらあると思う。

どうなんですか、わかんないんですけど、地域移行しないメリット、デメリットで、臼杵市が今、教育長が考えられてる段階的な地域移行についてのメリット、デメリットがあると思うので、そこを我々教育委員もちょっと明確にしていた方がいいかなと思ってですね、近頃ちょっとこう、熊本市の事例が良いことのように、マスコミ報道されたりしてるので、少し整理していただければ助かるなという意見です。

(教育長)

ありがとうございます。

課長何かありますか。

(学校教育課長)

はい。ご指摘ありがとうございます。

先ず、方向性についてなんですけども、基本的には設置者管理主義というかですね、それこそ、それぞれ市町村がお金も人も潤沢に持ってて、それぞれができればいいんですけど、そうはいかないと思ってますので、やっぱり、うちとしては特に県の方針を参考にしつつ、臼杵のスタイルで、臼杵のスタイルでというのが、先ず拠点校の形で実施しつつ、最終的には、いわゆる地域クラブの形に移行するという方向で今進めているという状況です。

ただ、やっぱり、なかなかうまくいかない。競技ごとに差があったりという部分がありますので、そこは今、調節しながらという形になるんですけども。

委員おっしゃるように本当に熊本市が何かすごく先進的なことをやってるようなイメージが。ちょっと私は違うのかなと正直思っているところもありますので、また、市の競技団体とか、連動取る部分と県との連動を取りながら調整していくということが必要かなということも思っているという

状況です。

(神田委員)

ありがとうございます。また、一覧みたいなので出していただけたら助かります。具体的に手当の額とかもニュースに出ていたので、ちょっと、保護者たちがモヤっとするかなという一点です。

次、もう一点あってですね、修学旅行なんですけど、これはもうマスコミ報道等ありまして、京都大阪。もう来年度以降やめよう。どうしてもインバウンドの混み具合があって、適正に見学がたくさんのところでできないってことがあったんですけど、大変申し訳ない身内の意見なんですけど、娘に聞いたら、そこそこ見れたぞって話だったんですよね。

だから、そこら辺のことが、すみません、マスコミ報道とのギャップがあるようなんですけど、白杵市としては今後も大阪、京都、奈良という今まで通りの方針でいくという形でいいんですかね。

(学校教育課長)

ご指摘ありがとうございます。

修学旅行につきましても、遠足、集団、宿泊的行事ということで、もちろん教育委員会も関わりますけれども、校長会が中心となって、白杵も学校単独ではなかなかいけませんので、市全体の中でルートを考える。そして、業者の選定を行うという形で進んでいる状況です。今のところは、他のという方はちょっと聞いてはみませんので、中身についても、とてもよかったという評判を聞いておりますので、基本的には学校の主体性とかを大事にしながら、白杵市教育委員会としても話を共通理解しながらやっていくという、今のところは、通常通りとかこれまで通りが継続かなという方向とは思っている状況です。

(教育長)

神田委員の2つの質問にお答えしますが、部活動の地域移行については、ちょっと1回、今の方向性を次の教育委員会か何かに少し説明をさせていただきたいというふうに思っています。

なかなか、国は令和7年という線を引いたんですけども、これはちょっとなかなか難しいということで、うやむやになっていますし、昨日も新聞報道では小学校の体育専科教員を部活動の指導者に充てるというような報道もありました。

ただ、白杵市では現実的でなくて、小学校の体育専科教員が白杵市全体で1名しかいない。その人が、どっかの部活を持ったにしても、もう焼け石に水でありますので、指導者の確保については今後もやっていけないといけないなというふうに思っていますし、両極端で先駆的なところでいくと、市町村が全部丸抱えでやっている県もあると聞いていますし、昨日資料いただいたんですけど、そこらあたりも、継続的にできる、長続きするということではいけないとなかなか難しいなというふうに思っていますし、まずは、課長が言いましたように、1つの学校でやっていた部活動を拠点型といって、複数の学校が集まって、集まりやすいところに、拠点を作ってやっていく。そのあと、地域移行できるとかをやっていく。

ここを強引にやってしまうと、例えば、チームができる学校が、よそも全部集めるってなると、なんでうちはできているのに、急にそういうふうに地域移行して全部集められるのという意見もあるやに聞いてますんで、少しずつ慎重に、焦らずに、白杵なりの白杵に合った地域移行もいずれはしていかがるをえない状況にあるのかなあというふうに思っていますので、それぞれの市町で状況が違うので、一律にこうやりましょうと言ってもあんまり上手くいかない状況があるのかなあというふうに思いますし、そこにどれだけ公費を投入できるかという問題もありますんで、そこらあたりは、しっかり検証しながら、ゆっくり進んでいく。その方向性については、今度お示したいというふうに思っています。

保護者の方には、学校説明会等でやっていくんですけど、なかなか保護者も聞いてないみたいなことになっている方々もいらっしゃるみたいなんで、また校長会でしっかり、小学校の説明会には、その件についても説明するようにお願いしたいというふうに思っています。

なので、単独の部活動で学校でやっている部活があったり、拠点型になっていたり、地域移行になっていたりという、こういう状況が数年は続くんだろうなというふうに思っています。

昨日の新聞の中では、大学の教授があんまり慌ててやらずに、やっぱり実情に応じたやり方をやるというのがベストだろうというようなことが書かれていましたんで、その方向でやりたいという。

修学旅行については、今課長が言った通りで、修学旅行の検討委員会を、校長会で作りますんで、急に来年というのはなかなか、ホテルの予約をとる関係で、もう、来年のやつはもう取っておかないと、もう泊まれないですね。なので、2年スパンとかで契約をしながら、場所を確保していくというところで、だんだん京都、奈良あたりが、よそに動くのは動くんかなと思っていますけど、ここらあたりも、校長会と連携しながらやりたいというふうに思っています。

ありがとうございます。

その他ございましょうか。

(村上委員)

ちょっと2点ほどですけど、よその県なんですけど。

児童2人が同級生の水筒に児童の1人が持ってきた睡眠導入剤を混入したという事件がありました。

たまたま目撃した他の生徒が、すぐ先生に報告して未遂で終わったんですが、とても危険な行為だなと思いました。

うちの市でも小中学校は教室のロッカーの上に、無造作にというか、置いてるんですけど、こういうことが起きないとは思いますが、もしものことも考えて、今後鍵つきロッカーを設置するか、何らかの対処を考えるとかの必要があるのかな。

それとも、子供たちに注意するとか、この事件のときに校長先生方に何か言ったとかはあったんでしょうか。

2つ目は、男性教諭の盗撮事件が多発しているんですが、うちの市の先生方はそんなことはな

と思いますが、保護者とか外部の方からそういう目で見られる可能性が高くなるのではないかと思います。疑われることがないように、女子児童生徒と一対一にならないようにとかですね。何らかの策を講じてあげて、むやみに疑われたりすることがないように先生方を守ってあげて欲しいなと思います。

(学校教育課長)

ありがとうございます。

今のところ、鍵つきロッカーというのは学校の状況にもよりますし、検討はしてないんですけども、できるだけ先生たちがその持ち物については把握しながら気をつけてやるということしかないのかなというのが今思っている状況です。

それと、盗撮につきましては、やっぱりかなり全国的なニュースにもなっていて、市教委も含めてですね、まず先生たちの、いわゆる研修、絶対そういうことが疑われることのないようにということと、また、これ県からの通知に沿ってやっているんですけども、例えば私用のスマートフォンは教室に持ち込まないでとかなさうですね。ともかく、そういう疑われるような行為はしないということでも徹底しながらやっている状況です。

特に、自分のスマホとかも教室に持ち込まずにですね、いわゆる本当にこれ学校のですよっていうのを使って撮影するとかですね。また、SNS上でのアップの仕方とかについても、かなり徹底しながら情報管理には努めているという形で、かなりこちらもそこは県の通達に基づいてというのがあるんですけども、かなりピリピリしながら指導を行っているという人達もかなり意識が高くなっているのかなというふうには思っているという状況です。

(村上委員)

そうやって、きちっと気をつけているということを保護者さん達にも、ぜひPTAなどで発信してですね、むやみやたらに疑われないように守ってあげてください。

本当、水筒の方はちょっと難しい。鍵ロッカーとか難しいと私も思いました。

なるべく担任の先生方も、気をつけるようにお願いします。

以上です。

(教育長)

ありがとうございます。

その他ございましょうか。

(佐藤委員)

学校内の草刈についてです。ちょっと学校名出しますけど、市浜小学校なんですけども。保護者と先生方と1度草刈を行いました。それでも、やっぱり、全体的にできなかったところや、生徒がどうしても危ないので入ってはいけないところも一部学校内にありまして、その雑草が藪のように

なって残っていました。

それを先日、先生の話によると、退職された校長先生方が何名かで、草刈をしていただいて、とても綺麗になって、もう藪がなくなり、一応入ってはいけない場所とは言うんですけど、やっぱり生徒もふざけて入ったりすることができるような場所にあるので、とても見晴らしも良くなって、綺麗になって、大変喜んでおります。感謝したいと思います。

ありがとうございました。

(教育長)

退職校長会、我々も木本委員も入ってるんですけど、毎年、学校に希望をとって、ただ我々としては今この立場になって、もう先生方も結構ご高齢になりつつあってですね、暑い中での草刈作業についても十分、お気をつけくださいということで、前は、ほぼ1年間でほぼ全ての学校に行っていました。

今は、無理のない範囲で、もう完全なボランティアでしていただいていますので、我々もありがたいなというふうに思っていて、今度退職校長会の研修がありますので、またお礼かたがたと思っています。大体は学校の管理職が刈ったりですね、自分も校長の時は、放課後にやっていたんですけど、なかなか、本当は公費で、賄うことができると一番いいなと思うんで。一部学校については、公費でやったりしてますし、カートになった草刈り機を導入するなど、少しずつは改善はしてるんですけど、どうしてもマンパワーに頼るところがあります。十分なことができてないんですけど、学校の子供たちのためにということでやっていただいていることについては、もう本当にありがたいなというふうに思っています。

ありがとうございました。

その他にご意見ありますか。

(委員意見なし)

(教育長)

それでは、以上をもちまして、10月の定例教育委員会を閉会いたします。